REFEREE NEWS

公益社団法人千葉県サッカー協会審判委員会

JAN 2025
年4回WEB発行（1、4、7、10月）

審判委員会トップページへはこちらから →

明けましておめでとうございます
本年も　ご協力のほど　よろしくお願い申し上げます

第103回全国高校サッカー選手権大会 千葉県大会
決勝戦

2024年11月9日（土）13：00キックオフ　フクダ電子アリーナ

日本体育大学柏高等学校　1（0-2、1-2）4　流通経済大学付属柏高等学校
R：杉野　杏紗氏、AR1：渕上　祥太氏、AR2：高木　進之介氏、4th：高﨑　鼎史氏（文中敬称略）

入場シーン（以下のリンクをクリックしてご覧下さい）※2025年3月31日まで掲載
入場シーン.MP4

コイントス.MP4

目　次

全国高校サッカー選手権大会決勝	P1～4	フットサル更新講習会・4級新規取得講習会 昇級審査のお知らせ	P20～22
全日本フットサル選手権大会決勝	P5～8	インストラクターの魅力　①	P22～23
全日本U-12サッカー選手権大会決勝	P9～10	永年表彰者募集のお知らせ	P24
昇級審査合格者のお知らせ	P10～15	2024年度の審判資格更新について	P24
地域で頑張っています！～白井シニアカップ～	P16～17	休止・降級の方法について	P25
サッカー更新講習会・4級新規取得講習会・ 昇級審査のお知らせ	P17～19	編集後記	P26

千葉県の高校サッカーナンバーワンを決める試合を終えた審判団にインタビューを行いました。

（左から 高木　進之介さん、高崎　昴史さん、大石関東サッカー協会理事、杉野　杏紗さん、渕上　祥太さん）

Q　：皆さんに伺います、決勝戦を終えた感想をお願いします。

杉野：この試合に関わるすべての関係者の皆さまのご協力のもと、試合を無事終えることができたことに感謝の気持ちでいっぱいです。

渕上：無事に試合が終わったことを安心しています。いつも通り、試合を楽しむことが出来ました。お疲れさまでした！

高木：素晴らしい舞台で副審をする機会をいただけたことに感謝しています。このような舞台は初めてだったので、緊張しましたが楽しんで審判をすることができました。

高崎：緊張していたせいか、とても疲れましたが、無事に終わってほっとしています。

Q　：杉野さんは今回初めての決勝戦の主審でしたが、いかがでしたか？

杉野：決勝戦だからと言って何か特別なものという感覚はありませんでした。どんな試合も緊張はしますし、それが私の試合に向けて準備している証拠と考えているからです。いつもどおり、目の前の選手、チームと正直に向き合った時間でした。

Q ： 渕上さん、髙木さんは初めての決勝戦のアシスタントでしたが、いかがでしたか？

渕上 ： 特に変わったことはなく、いつも通り準備をして、いつも通り試合に臨みました。

髙木 ： 最初の10分は、緊張して体が全然動きませんでした。しかし、時間が経つにつれてリラックスでき、会場の雰囲気や試合の温度感などを感じながら走ることができました。

Q ： 髙崎さんは2回目の決勝戦の第四審判でしたが、前回との違いはありましたか？

髙木 ： 大きな違いはありませんでしたが、やはりとても緊張しました。

Q ： 決勝戦を戦った選手達をどのように感じましたか？

杉野 ： 千葉県の高校サッカーのレベルは全国的にみても高いと思います。ピッチの上で選手と向き合ったときに、不思議とプロ意識のようなものを感じました。自分たちのチームのエンブレムを背負って戦っている覚悟をみたように思います。何より私を1人の審判員として認識し、判定を委ねてくれ、協力してくれたことに感謝しています。

渕上 ： 多くの観客に見守られながらプレーできることを羨ましく思いました。全力を尽くしてくださり、感謝しています。

髙木 ： 選手たちの想いがぶつかり合っていたと思います。技術も高く、自らの力を全て出して闘っている選手たちにすごく感動しました。審判員として、その選手の想いに答えるべく全力で審判を担当しました。

髙崎 ： まず体格のよさに感心しました。また、彼らの試合への意気込み、勝利へのこだわりの強さをプレー一つ一つに感じました。

Q ： 試合前のルーティンがありましたら教えてください。

杉野 ： 特にルーティンは決めていません。自分の課題などをノートをみて確認することはしますが、意識しすぎると試合に対する目的が変わってしまうので意識しすぎないことを心がけています。

渕上 ： よく食べてよく寝てしっかりとウォーミングアップをすることです。

髙木 ： 大体試合開始の2時間前におにぎりを食べています。味にこだわりはなくて、その時の気分で決めています（笑）。試合前のアップのときは、必ずチューブを使って最初のアップをするようにしています。やり始めてから、試合中動きやすくなったように感じます。

髙崎 ： 競技規則の確認、大会要項の確認を行います。

Q ： 県内の女性レフェリーに伝えたい事がありましたらお願いします。

杉野： 中々お会いできる機会はありませんが、一緒に頑張っていきたいです。お会いする機会がありましたら仲良くしていただけたら嬉しいです。

Q ：県内のレフェリーに伝えたい事がありましたらお願いします。

渕上： 色々とご迷惑をおかけすることの方が多いのですが。。。それでも努力を続けていると、注目度の高い試合にも平等に割当のチャンスをくださるので、一緒に努力を続けていきましょう。でも迷惑をかけないのが一番だと思います！（笑）

高木： いろいろな巡り合わせで今回担当することができました。頑張っていれば必ず誰かが見ているのだなと感じました。これからも千葉の一審判員として、皆さんと切磋琢磨していければと思います。これからもがんばりましょう！

みなさま、ありがとうございました。

おまけ（試合前の動画）
※2025年3月31日まで掲載

試合前（杉野氏）.MP4

試合前（渕上氏）.MP4

試合前（高木氏）.MP4

試合前.MP4

JFA 第30回 全日本フットサル選手権大会 千葉県大会 決勝

2024年11月30日(土)16:30キックオフ ～バルドラール浦安アリーナ～
FC mm 4-1(2-0、2-1) GINGA F.C. CHIBA. MAKUHARI
主審:金指 友翔氏、第2審判:田口 雄一氏、第3審判:澁谷 典氏、タイムキーパー:松尾 晋也氏(文中敬称略)

(左から、松尾さん、金指さん、田口さん、澁谷さん)

入場シーン(以下のリンクをクリックしてご覧下さい)※2025年3月31日まで掲載
入場シーン.MP4

Q ： 決勝戦にふさわしい試合でした。まずは、試合を終えた感想をお願いします！

金指 ： 間違いなく、今期最高の試合でした。特に大きな問題もなく、決勝主審という大役を全うし、ノーカードで締めくくることができたので、ひとまずはホッとしています。

田口 ： 非常に良い試合を最高の会場で審判員として携われたことを大変嬉しく思いますし、この場を設けていただいた審判委員会フットサル&ビーチサッカー部、千葉県フットサル連盟の皆様に感謝の気持ちでいっぱいです。いやー、楽しかったですね～！

澁谷 ： 主審の金指さん、第2審判の田口さん、タイムキーパーの松尾さんと協力して大きなアクシデントがなく試合を終わらせることができ、一安心しています。

松尾 ： Fリーグディビジョン1で首位を走るバルドラール浦安のホームゲームの後の開催という事もあり、素晴らしい試合会場で、観客の皆様も多く残ってくださり、その中で審判団もそれぞれのタスクを観られているという意識のなかで実行出来たかと思います。

主審の金指さん

Q ： フットサル審判はサッカーと違う点が多くありますが、４人のそれぞれの役割について教えていただけますか？

金指 ： 主審は、第2審判・第3審判・タイムキーパー(いれば第4審判)と協力して、試合を進行します。審判団を率いる者として、その試合における判定基準を決め、ベンチ役員や選手とコミュニケーションをとり、試合に関わる全ての方がフラストレーションを溜めないような試合作りをすることが求められる役割です。

第2審判の田口さん

田口 ： 第2審判は、金指さんが仰った主審と職務は同じですが、あくまでも「第2」審判なので、笛を持ったアシスタントレフェリーと言うと皆さんには理解しやすいかもしれません。

澁谷 ： 第3審判は、サッカーの第4の審判員と役割が近い部分があると感じておりますが、最近のフットサルの傾向として主審・第2審判の見えていないエリアの監視を受け持つ為、以前に比べると走ることが多くなってきた印象です。ビーチサッカーのレフェリーをやられたご経験のある方は、ビーチサッカーの第3審判を思い浮かべていただくと、より近しいイメージをお持ちいただけるかと思います。

松尾 ： タイムキーパーは、サッカーのランニングタイムでの試合時間の計測と違い、プレーイングタイムでの計測となるので、インプレー、アウトオブプレーを見極め、正確な試合時間を計測するのが一番の任務になります。またタイムアウトの管理、累積ファールの合図も任務になります。

帯同審判であればこれらのタスク実行だけでも最低限十分なのかもしれませんが、我々協会派遣審判になると、これに加え他の審判員と連携しての判定のサポート、両チームのベンチコントロール、試合の正確な記録も重要な任務になります。

Q ： 金指さんは初めての決勝主審だったと思いますが、オファーをもらった時の気持ちと、試合までに準備した事は？

金指 ： 昨年度の選手権では第2審判として決勝戦を担当し、「来年こそは主審を！」と思っていましたので、割り当てをいただいたときは純粋に嬉しく思いましたね。試合当日までは、中間試験、インターンシップ、2級昇級の見極め審査など様々な予定が入っていたので、なるべく疲労をためないよう、体へのケアを怠ることなく行っていました。具体的には、よく睡眠をとり、整体に行って体をほぐしてもらい、前日は眼精疲労をためないようにスマホやパソコンを見ないようにするなど、いいコンディションで迎えられるような対策をしました。そして、試合当日では前段にFリーグの試合があったので、速いプレースピードに追いつくように目を順応させつつ、決勝の試合展開をイメージしながら観戦し、気負うことなくリラックスして試合に臨めるように心身を整えました。

Q ： 澁谷さんと松尾さんは今回初めての決勝審判でしたが、オファーをもらった時の気持ちや準備した事は？

澁谷 ： 第3審判として割当を頂いた時はもちろん光栄ではありましたが、万が一主審・第2審判が怪我をした場合自分が笛を吹く可能性があることに気付いた時、思わず身震いしたのを覚えています。準備としては普段通り走ったり、映像を観たり、できる準備はしっかり行ったつもりです。

松尾 ： ハイレベルな注目を浴びる千葉県の選手権の決勝なのでプレッシャーを感じましたが、責任を持ってしっかりと準備をして取り組もうと思いました。バルドラール浦安アリーナのタイムキーピングの機器で非常に注意すべき点が1点あったので、Fリーグの試合等で扱った事のある審判仲間に入念に対策をヒアリングしていました。また、6月の予選リーグからスタートし、この半年間千葉県協会の運営スタッフの皆様、選手の皆様、フットサル審判の皆様が繋いで来てくれた最後の決勝なので、感謝とリスペクトを持って取り組もうと思いました。

第3審判の澁谷さん

Q ：本日の決勝戦での判定で最も大きかった事、うまく行った事、行かなかった課題点などは？また、フットサルだからその判定の難しいとことは？

金指 ： 両チームともにフェアで、さらに審判団に対し、とても協力的であったため、試合自体は上手く進行することができました。最も重要な判定は、第2ピリオド残り10分で、GINGAサイドのペナルティーエリア手前でFC mmによる直接フリーキックが行われ、蹴られたボールがゴールラインにかかるかかからないかのところ、GINGAのフィールドプレイヤーの手に触れる事象があり、結果的には、FC mmの得点を認め、手に触れたのはボールがゴールラインを超えた直後と判定しました。ゴールラインを越える前に触れた場合はアドバンテージを適用、ハンドの反則を行った選手を警告、GINGAのファウルカウントを1つ積まなければならなく、ハンドとノーハンドでは結果があまりにも違いすぎるため、正しく見極める必要がありましたが、なんとか

正確に判定することができました。
うまくいったことも多くありましたが、同様に課題点もたくさんあり、1つ挙げるとすると、試合前のピッチチェックの際、ある人はタイマーの操作方法の確認、ある人はネットチェック、ある人はベンチ周りの確認など、各自がバラバラに行動してしまい、統率感がないことをご指摘いただいたので、試合中のみならず、試合前からも主審として審判団をまとめられるように、今後の試合では注意していきたいです。

田口： 私は、試合序盤のアドバンテージも決勝戦のハイライトの1つだと思っています。フットサルは2人の審判員が笛を使い、試合をコントロールするため、2人の判定基準をより近づけることが求められます。だからこそ2人揃ってアドバンテージのシグナルができたあの場面は、フットサル審判員の難しさと面白さが詰まった場面だったと思います。

澁谷： 全てチャレンジだと思って取り組んだため、うまく行ったとは思っていません。大きな判定に関わるシーンがあり、結果として正しく審判団として判定出来ていなかった可能性が高く、3人の協力という面ではまだまだ課題が残ったと考えています。

松尾： 個人的には先ほど言ったタイムキーピングを問題なく行う事を一番の重点に置いていて、その点はミスなく終えられたのですが、これから2級を目指す上で、絶対やらなければいけない審判団の一員としてのレフェリングのサポート、コミュニケーション、ベンチコントロールという点で課題が残りました。

Q ： 田口さんと金指さんはサッカー審判としても活躍されていましたが、なぜサッカーからフットサル審判に重きを置くようになったのですか？

田口： 日本のトップリーグを目指せる環境を優先しました。サッカーで関東リーグの主審や全国高校選手権などを経験して、また自分もあのようなハイレベルで、選手同様に熱く本気で競技に向き合いたい！と思いフットサルに競技を変えました。今やFリーグのトップレフェリーになった松田さんの存在も非常に大きな影響を受けています。

金指： 私の場合は活躍といえるほどのことはしていなかったかと思いますが…(苦笑)、3級の昇級試験を受験した際、フットサル＆ビーチサッカー部の木村さんからお誘いをいただきまして、強化審判員として活動していくうちに、フットサルの魅力や面白さに取り憑かれてしまいました。審判員数に対しての試合数が多いことと、フットサルの割り当てがサッカーよりも前に行われることも相まって、休日はフットサルの割り当てでビッシリと埋まります(笑)。そういったこともあり、気が付けば、今年はフットサルとビーチサッカーの割り当てしか受けておらず、サッカーは1試合も担当できていないですね(苦笑)。

Q ： そこで、サッカー審判員の経験がフットサル審判に活きるものは？

金指： 中学で帯同審判をしていた時や、昨シーズンはよく副審を担当していたのですが、副審のサイドステップなんかはフットサルの審判で活きますね。視野を広く、全体を俯瞰して見るためによくサイドステップを使います。もちろん、これだけではなく他にも多々あるので、サッカーの審判をやっていてよかったなと常々思います。

田口： 例えば、どちらもファウルの基本的な部分は一緒ですので、サッカー審判員を経験している皆さんであればすぐに順応できます。サッカーもフットサルも同じフットボールで、足を使って点を取り合うという共通点があるので、選手たちがどういう思いでプレーしているか?!なども感じられると思います。

Q ： 澁谷さんと松尾さんはサッカーの審判はしないのですか？

澁谷： 過去には4級審判員の資格を持っていて、実際とある高校のコーチをしていた際には、主審を担当したこともあります。現在は失効してしまっていますが・・・(苦笑)。

松尾： 私は現在、競技フットサルチームに選手としても所属していて、フットサル審判も第2審判登録協会でも活動しているので、現状なかなか時間が取れないのですが(苦笑)、選手を辞めて今より時間が取れればサッカーの審判も大変魅力的なのでチャレンジしたい気持ちはあります。

タイムキーパーの松尾さん

Q ： それだけフットサルの審判に取り組む魅力は？そもそも競技フットサルとは？

澁谷： 競技フットサルは、『我が人生！』といっても過言ではありません。具体的な魅力を説明しようとしても上手く言葉に出来ませんが、飽きっぽい自分が大学1年生の時から15年以上続けている時点で、何か深い魅力に魅せられた1人なんだと思っています。

松尾： 攻守の切り替えが速く、試合中のトランジションが数多く発生するため、的確なポジションを取り続けないと事象を正確に見る事が出来ず、相当なプレーを読み解く力がないとアドバンテージの適用も難しいです。プレーイング40分間の高い集中力も要求されます。
それだけにレフェリング技術を向上させて行く過程に大変魅力があります。上手く出来た時の試合後の達成感もありますね。

Q ： 最後に今後の抱負をお願いします！！

金指： 懸命に頑張り、上級を目指していきたいと思います。今後ともよろしくお願いします！

田口： フットサル審判員の魅力を体現して、皆さんに発信していきます！

澁谷： 邁進します！

松尾： ワッペンの色であるとか、級にこれまでは拘りはなかったのですが、来シーズンはしっかりシーズンを通して割り当てを受けて2級を目指します！レフェリングの根底にある競技規則をしっかりと正確に理解して、試合に適用出来る様に勉強を続けたいと思います。

おまけ(試合前後の動画)
※2025年3月31日まで掲載
試合前.MP4

みなさま、ありがとうございました。

JFA 第48回全日本U-12サッカー選手権大会 千葉県大会
決勝戦にユース審判員が活躍

これまで、全日本U-12サッカー選手権大会の千葉県予選は主審と副審2名に第4の審判の計4名で行っていましたが、今年から全国大会に合わせて1人審判制となった事もあり、準決勝と決勝戦はユース審判員に担当してもらう事になりました。

決勝戦は晴天のもと、白井運動公園陸上競技場で行われ、ユース審判員の高沼氏と末次氏が担当し、素晴らしいレフェリングで熱い試合をコントロールしました。その様子を紹介します。

担当審判員のコメント

主審 ： 高沼 響(たかぬま ひびき)

この度は堀川審判委員長をはじめ、育成部や4種委員会のご支援を受けてこのような素晴らしい機会を提供させていただいたことに深く感謝申し上げます。

私は昨年に引き続き全日本U-12サッカー選手権大会の選考会を兼ねている関東ユース審判研修に参加させていただきました。結果として、今年は全国への派遣を受けることができませんでした。千葉の代表として参加できなかった悔しさを次に向けて精進していきます。

千葉県大会決勝のオファーをいただいた時には、全国につながる大きな大会であるので、関東の研修を活かして、より説得力のあるレフェリングを心がけたいと思い臨みました。今回のレフェリングでは、常に事象に近い位置で判定ができて良かったのですが、体力任せでポジショニングを取ったため視野を狭めてしまったので、次の試合では少し余裕を持って視野を広げられるようなポジショニングをしていきたいです。

最後に、この大会を一つのゴールとするのではなく、また新たなスタートとしてこれからも審判を続けていきたいです。受験があるのでまた4月以降皆さんとお会いできることを楽しみにしています。

予備審判 ： 末次 空斗(すえつぐ くうと)

千葉県所属ユース審判員の末次空斗です。まず、日々の審判活動へのご協力感謝申し上げます。今回、補助審判員を努めさせていただきました。これまで補助審判員や4thの経験があまり無かったのですが、実際にやってみて改めて大切な仕事ということを認識することが出来ました。

昨年、U-12選手権の本大会の審判員に推薦をいただきましたが、大学受験のため仕方なく断念しました。U-12カテゴリーでの未練が残る中、今回決勝戦に抜擢していただきその未練を1年越しに晴らすことが出来ました。

ユース審判員の中でも、高校生であれば全国U-12サッカー選手権大会に派遣される可能性があるので、ぜひ高校生でも審判に挑戦していただきたいと思います。これからも、2級昇級を目指して活動してまいります。これからもご協力、ご指導よろしくお願いいたします。

決勝戦の様子

試合前に大会役員の方々と記念写真

試合後の振り返り

昇級おめでとうございます！

昇級審査合格者のお知らせ

【サッカー1級】(順不同、敬称略)

※千葉県から久々のサッカー1級審判員誕生です！しかも2名、凄い！！

菊池　俊吾　　小林　拓矢

菊池 俊吾さんよりコメント

2023年からJFL主審候補者プールカテゴリに推薦され、2年間活動を行い、2024年12月のJFA理事会で昇級が認定されました。千葉県の皆さまには多大なるサポート、または心配のお声がけもいただきました。この場をお借りして感謝申し上げます。

【サッカーとの出会い、審判員として】

サッカーは幼稚園年中のとき、すでにサッカーをしていた兄の影響で始めました。地元の生浜FCに入団して、小学校1年生のときにJSC CHIBAへ移籍(?)し、様々な所に遠征をさせていただきました。小学校のときに技術的にも、精神的にも鍛えて頂いたので今の自分があると思っています。中学、高校ではジェフユナイテッド市原・千葉の下部組織でプレーしました。

高校で現役を退いた後は、U-18リーグにいらっしゃった五十嵐さんからお誘いいただいたこともあり、審判活動を始めました。大学では審判活動に多くの時間を割き、関東レフェリーアカデミー、全国大会など多くの経験をさせていただきました。社会人になってからは関東のトップカテゴリを担当する中で苦労することもありました。体重が学生時代に比べて5kgほど増加し、なかなか思うようなパフォーマンスを発揮できない、トレーニングが思うようにできない日もありました。

審判活動が思うようにできない現実と向き合い、環境を変えるしかないと考えて、スキルを身に付けるために様々な自己投資をしました。現在では動画編集や動画撮影、SNS運用の知識を身に付けてテレワークが多めの職場に転職しています。その結果、新卒のころよりも審判活動に時間を割くことができるようになりました。

【1級を目指す】

審判活動を始めたころからJリーグの舞台に立ちたいと思っていました。なぜなら現役時代に一緒にプレーした同期・先輩・後輩・当時のライバルたちが今もJリーグの舞台で輝いているからです。選手としての夢は叶わなかったですが、審判員としてあの舞台に立てる可能性があるならチャレンジしたい！と思っていました。

千葉県や関東の皆様のサポートのおかげで、1級審査までは順調にステップアップできていました。しかし、プールカテゴリの1年目は大きなミスをしてしまい、昇級を見送られてしまいました。今まで順調にステップアップできていたので、ショックは少なからずありました。しかし、あと1年しっかり鍛えなおして1級に上がったほうが、将来のことを考えると絶対プラスになるとポジティブに捉えました。

その結果、2年目は「ミスをしてはならない！」という雑念から解放され、自分らしくレフェリングができました。それが昇級という結果に繋がって本当に良かったと思います。

【同世代の若い審判員の皆さまへ】

大きな夢や高い目標を持って審判活動に取り組んでほしいと思います。大きな夢に向かって突き進むことが、皆さんを大きく成長させてくれるはずです。「燃えるような熱い願望」が「明確な目標」と「緻密な行動計画」を生みます。

最近読んだ本から学んだことです。あなたの夢・目標を改めて明確化することから始めてみてください。僕も次の夢・目標に向かって頑張ります。

小林 拓矢さんよりコメント

この度、JFAセレクションという事業を通じて、2024年11月末に1級審判として認定されました。5月に夢フィールドでの集合研修に参加し、その後、約8ヶ月間を経て認定となりました。

審判活動を本格的に始めたのは2020年、流通経済大学の学生だった頃です。その際にご縁をいただき、千葉県での活動をスタートしました。以来、多くの方々のご指導やサポートをいただき、目標としていた1級審判昇級を達成することができました。この場を借りて、改めて心より感謝申し上げます。

【審判活動を始めたきっかけとこれまで】

私は小学3年生の頃、地元福島でサッカーを始め、大学では流通経済大学で選手として活動してきました。しかし、関東大学サッカーリーグの舞台でプレーすることは叶いませんでした。高校3年生のとき、インターハイや選手権で県準決勝まで進みましたが、全国大会には届かず、大学では高いレベルの厳しさを痛感しました。

そんな中、中学時代に取得していた4級審判ライセンスの更新講習で、ワールドカップ帰りの審判員の方の講演を聞く機会がありました。「審判としてもW杯を目指せるんだ！」という印象が強く残り、ライセンスを失効させることなく大学3年生まで持ち続けていました。このご縁をきっかけに、新たな挑戦として審判の世界に足を踏み入れる決意をしました。

2019年の秋の終わり頃から本格的に審判活動を開始しました。右も左もわからない中、千葉県の皆さんに支えられながら活動を始めました。そこから1年半ほど経った2021年、大学院1年の春にはCOVID-19の影響で各都県で実施された2級昇級試験を東京で受験しました。当時、千葉県では私1人しか対象者がいなかったため、東京の南豊ヶ丘フィールドで、東京の受験者の中に混ざって試験を受けた経験は今でも鮮明に覚えています。

その後、昇級した年から関東の副審カテゴリー、Y群で2年間、X群と活動させていただき、Y群の2年目からはレフェリーアカデミーでの活動も経験させていただきました。これらの活動を通じて様々な経験を積み、2024年に1級昇級というご縁をいただけました。

【仕事や大学院との両立】

大学院や職場との両立についてどうしていたのか？というご質問もいただいたので、少しだけ触れさせていただきます。ご興味があればお読みください(笑)。

大学院時代は、終電まで研究室に籠ることも多々あり、社会人になってからも深夜まで仕事をし、帰宅した後に、トレーニングをする生活が続いていました。現在は社会人2年目の後半になり、少し落ち着いてきました。(笑)

そんな中でも、「当たり前のことを当たり前にやり続ける」「チャンスが来た時には譲ってはいけない時がある」という考えのもと行動してきました。例えば、大学の卒業式には参加せず、yo-yoテストを受けるなんてこともありました(笑)。自分でも「物好きで変人だな！」と思うこともあります(笑)。

チャンスが来た時に譲ってはいけないものを優先するためにはどうするか?!というと、特別な裏技があるわけではなく、「当たり前のことを高い基準でやり続ける」ことに尽きると思います。仕事を効率よく終わらせるためにどう動くべきかを考え、やるべきことをきちんと終えれば、周囲の人からも理解を得られるようになります。また、帰宅が遅くなり十分なトレーニング時間が確保できない場合には、自分の課題を分析し、補うために自分でトレーニングについて調べたり人に教えてもったりして取り入れていく。

私のフィットネスがもともと高いと思われることもありますが、決してそうではないと思います。そんなことも意識しながら、可能な限り「当たり前のこと」を継続してきた結果、徐々に自分にとって優先すべきことを優先できる環境が整ってきたように感じています。

【今後について】

今回、ありがたいことに1級昇級のご縁をいただきました。これを機に、さらに上を目指すチャンスをいただいたと考えています。Jリーグの舞台を目指すと共に、国際審判員としても活動したいと考えています。そのためには、まだまだ成長しなければならないことが山ほどありますが、自分なりに考え抜き、基準を高めながら取り組んでいきたいです。その努力を通じて、サッカーの魅力を引き出し、私自身だけでなく、その場にいるすべての人がサッカー

を楽しめる場を提供できるようになりたいと思っています。

【最後に】

千葉県をはじめ、関東でお世話になった皆様、大学院時代に大変お世話になった平田教授や平田研究室の皆さん、早稲田大学ア式蹴球部の学生やスタッフの皆さん、そして職場の皆さんに心より感謝申し上げます。また、わがままを聞いてくれ、なかなか実家に顔を出すこともできていませんが、私を応援し続けてくれている両親にも、改めて感謝しています。ありがとうございます。

この場を借りてのメッセージとなり恐縮ですが、これにて結びとさせていただきます。

今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

【サッカー2級】(順不同、敬称略)

兼田　正郎　　川島　悠太郎　　澤本　真　　本多　太郎

サッカー2級昇級者よりコメント

兼田　正郎(かねだ　まさお)

この度、2級審判員に昇級いたしました、兼田　正郎(かねだ　まさお)と申します。これまで直接ご指導や助言をいただいた方々、今回の昇級試験に携わっていただいた方々に深く感謝申し上げます。

元々サッカーをしていましたが、審判を始めたきっかけは息子がサッカーを始め帯同するようになったからです。 経験不足の中でのチャレンジでしたが、イメトレすることと自分の強みを発揮できたことが合格に繋がったのではないかと思います。

今後は難しい試合が増えると思いますが、熱くフェアで感動するような試合となるように、そして、日本サッカーのレベルアップに寄与できるように精進してまいります。

今後とも、引き続きよろしくお願いいたします。

川島　悠太郎(かわしま　ゆうたろう)

この度、2級審判員として活動することになりました川島悠太郎です。昇級にあたりご協力いただきました千葉県サッカー協会審判委員会及び関係者の皆様に心より感謝申し上げます。

3級審判員で活動していたときに、よりレベルの高い試合、カテゴリーでピッチに立ちたいと感じたことが2級にチャレンジしようと思ったきっかけです。今後は選手のパフォーマンスを引き出せるようなレフェリングを心掛けていきます。引き続きご指導ご鞭撻の程よろしくお願いいたします。

澤本　真(さわもと　ただし)

この度、2級審判員として活動させていただくことになりました澤本です。これまでご指導いただきました千葉県サッカー協会審判委員会の皆様、船橋市サッカー協会審判委員会の皆様に心より感謝申し上げます。

息子2人の4種のサッカーチームで審判取得、帯同を始めて10年目となります。2級昇級を目指した理由は、高校サッカーやなでしこリーグで審判を務めている方々に憧れ、より高いカテゴリーで審判したいと思ったからです。自分のポジショニングや判定の悪さで荒らしてしまった試合も多々ありますが、審判インストラクターの方々にいただいたアドバイスを活かし、毎回課題を持って試合に臨むことで少しずつ成長を実感してきました。

特に印象に残っているのは実技研修会での試合中、淺田武士さんが一緒に入りレフェリーのポジショニングを示してくれたことです。動き出しや予測が自分に見えている景

色とあまりにも違っていることに気付き、衝撃を受けました。上級レフェリーの方の動き方や視線を真似して良いポジショニングで判定できるよう、次男が所属するFC習志野の練習試合で何度もトレーニングさせてもらいました。子供がプレーするピッチで一緒に走り回れたのも良い思い出です！（毎回、来るなと言われましたが…笑）

これから担当する試合でも、サッカーの魅力を引き出すレフェリングを目標に、目の前で繰り広げられる選手の華麗なプレーを楽しみながら審判活動していきたいと思います。一緒にレフェリーチームを組んだ時はよろしくお願いします！

本多　太郎（ほんだ　たろう）

この度、2級審判員に昇級いたしました、本多太郎と申します。はじめに、昇級にあたってご協力いただいた皆様に感謝申し上げます。

私が審判に興味を持ったのは、中学時代の練習試合でじゃんけんに負けて副審をしていた際に、その楽しさに惹かれたのが最初です。そこから審判に興味を持ち、本格的に始めました。昇級しようと思ったのは、J1担当審判員になるという目標のために、昇級してより難しい試合で主審をし、ステップアップしなければならないと考えたからです。

私自身、ようやく昇級することができたのですが、昇級するにあたって、サッカーをひたすら勉強したことを振り返ります。「チームの狙いは何か!?」、「どういうサッカーをしたいのか!?」を学び考え、それが徐々にわかってきたことで、スムーズな動きになり、良い位置に行くことができるようになりました。また関東で活動されている2級審判員の方の試合を映像や会場で見ることもまた、成果になりました。

難しい試合をコントロールし、良い試合を作り上げられたときには、この上ない達成感を感じます。そういった試合を今後は多く作っていきながら、私自身の目標にも向けて、2級審判員としての自覚をもって活動していきます。今後とも、皆さまよろしくお願いします！

【サッカー3級】（順不同、敬称略）

4種委員会主催（32名）

赤木　遙仁	阿部　聖司	池田　裕太	石井　和幸	内田　勇介	岡田　靖大	
小笠原　寧音	小高　利明	上山　晴久	川崎　颯太	川島　悠人	木村　康太	倉持　潤
胡口　脩佑	小早川　尉博	齋藤　義之	清水井　康司	瀬木　幸治	高下　彰通	立岩　直
田邉　拓也	内藤　貴也	西澤　匠	鳩谷　大地	平田　義人	広田　健	藤田　愛衣
藤田　葵衣	宮本　尚季	森川　雅人	山口　周平	吉崎　純		

サッカー3級昇級者よりコメント

立岩　直（たていわ　なおき）

始めはよくある話で、息子と娘の付き添いでグランドに行ったのをきっかけに、体を動かす事が好きだった事もあり、コーチのお手伝いをするようになって、その一環で審判資格を取ったのが20年前の話です。

競技経験はありませんでしたがコーチをする事になり、経験不足を補いたくて子ども達と一緒にサッカーする中で夢中で学びました。いつもおふざけばかりの子ども達が、試合になると真剣に取り組んでいる姿を見て感動したと同時に、自分の審判活動においても中途半端な気持ちで審判をしてはいけないと思いました。

「楽しくなければサッカーじゃない！」を信条に審判にも取り組んできましたが、4級で出来る事の限界を感じ、子ども達の為にもっと自分のスキルアップが必要と思い、今回の昇級にチャレンジしました。自分自身としては、ようやくスタートラインに立てた気持ちです。

これまでもそうでしたが、沢山の失敗をすると思います。でも、自分がハイレベルな経験をする事で、子ども達にとってより良い環境でサッカーをしてもらえたら

良いなと思います。そしてこの青いワッペンに恥じないレフェリーになれたら良いな！と思っています。

平田　義人（ひらた　よしひと）

松戸市立常盤平中学校の平田義人と申します。U-15県リーグや高円宮杯、中体連の県大会でお世話になっている派遣審判の皆様には「こいつ見たことあるな！」と思われる方がいるかもしれません。日頃から大会会場等で審判員の皆様には大変お世話になっております。私は技術やトレセンで県協会の活動に関わっておりますので、指導者の視点からのお話しになってしまいますことをお許しください。

私は、ルールの理解とサッカーの技術・戦術理解の向上は関連していると考えており、部員に4級審判の資格を取得することを推奨しています。ちなみに、一昨年度関東大会に出場した現高校2年生、昨年度全国大会に出場した現高校1年生は、全員4級審判の資格を保持していました。その現高校2年生が戦った県リーグ2部参入戦にて、その試合を担当していたアセッサーから「一度もファウルが無かったので主審は退屈だったと思います」と言われたことがあります。そして現高校1年生が戦った全国大会1回戦では、試合後にウエルフェアオフィサーから「前半、ファウルは1回も無く、フェアプレーでとてもいいチームでした！」とのお言葉をいただきました。改めてルールを理解し、それを選手たちに伝えることは大切だと実感しました。同時に、自分自身がしっかりと勉強してアップデートしていかなければいけないと考えるようになり、バレーボール部の顧問時代に一度失効した3級に再チャレンジすることにしました。

4種のお父さんコーチや中学校の部活動の先生で、指導力の向上を考えている方は審判の上級にもチャレンジすることをお勧めします。私自身は今後3級取得にチャレンジする選手も育てていきたいと思っています。

藤田　葵衣（ふじた　あおい）

まず私が、審判員になろうと思ったきっかけは、中学の部活で選手として初めにルールを覚えようと思った事がきっかけです。4級審判員になり、活動していく中、ラビットキッカーズのコーチでもある中里コーチが見ている女子のトレセンで幅広く審判活動を行う事ができるようになりました。技術面では、現在同じ3級審判員でもある岡庭コーチにご指導していただき、審判員としての知識や、技術をより深く知りたいと思い、3級審判員を目指したいと思う気持ちが強くなりました。

3回目の試験で姉と共に合格する事が、出来ました。2回目の試験勉強では、女子1級審判員の上田さん、3回目の試験勉強では、山崎さんのご協力を頂いたことは今でも感謝しています。さらに、現在では千葉県サッカー協会の審判部である青木さん、池田さんをはじめ同じ3級審判員でもある父の協力もあり、選手兼審判員としてさらに理解を深めていきたいと思っております。

今までご協力頂いた皆さんの感謝に応えるべく、次の目標として中学在学中に2級審判員の昇級をしたいと思っております。

おめでとうございます！
今後のご活躍を期待いたします！！

今日も地域で頑張っています！！

～いつも各地の大会会場で頑張って審判している方々を紹介します～

2024年10月20日（日）

白井シニアカップ

～白井市白井運動公園陸上競技場～

千葉県内では様々な大会が開催されていますが、そこで日頃から活躍している審判の方々にスポットを当てて取材しました。
今回は白井市で開催された白井シニアカップで各市からの審判依頼で頑張っている皆さまにインタビューをしました。

①　：氏名（敬称略）	②　：審判歴
③　：審判になったきっかけは？	
④　：審判活動で印象に残っていること	⑤　：これだから審判は辞められない審判の魅力とは？

①　：高山　卓巳（たかやま　たくみ）

②　：19年になります（3級は12年）。

③　：きっかけは、長男がサッカーを始めて手伝うようになった少年団ですね！4年生になると県大会があって、その時に当時の先輩コーチから「審判資格を取ってみないか？」と勧められたんです。やってみると、もっとルールを知りたいという好奇心が湧いてきて、上級資格を持っている方のアドバイスもあり、せっかくだから3級の資格を取ることにしました。

④　：4種のトレセン大会で、試合途中に雷鳴が聞こえた瞬間、2面で同時に笛が鳴り、試合が中断したことですかね。自分は副審だったのですが、両主審の息の合った判断と対応には感動しました。冷たい冬の雨の中での大会で、まるで罰ゲームのような状況だったので、今でも鮮明に覚えていますね。

⑤　：選手たちのプレーを間近で見られることです。予測を超えるプレーに出会うと「そう来たか！」とワクワクしますね。
それに、ルールを深く知ることで試合の流れや選手の意図も分かるようになって、ベンチや観客とは違う視点で試合を楽しめるのもいいところです。

①　：三浦　比呂志（みうら　ひろし）

②　：約20年です。

③　：息子が入団したスポーツ少年団のお手伝いがきっかけですね。

④　：3級取得後の4種の試合で、当時4種ではイエローカードはあまり出さないような雰囲気がありましたが、1日がかりの試合の第一試合の主審を担当した際、日頃から疑問に思っていた4種でのカード提示について、ルールに則り迷いなく提示しました。その後の試合でも3級、4級問わずカードが提示されたことが印象に残っています。

⑤　：「プレーオーン！」の後、得点に絡むシーンが生まれることですね！

「地域で頑張っている」レフェリーを取材に行きます！

千葉県内の様々な地域で色々な大会が行われて、そこで頑張って活動しているレフェリーを取材に行きます。
例えば、4種の各ブロックが主催する大会で主管部から指定された方々、各市の審判部会から派遣された方々、地域やチームの招待試合において数名で審判を担当する方々など、また「こんな名物審判がいる！」など、紹介したいレフェリーなど情報をいただければ、総務部が取材に行きます。
情報を以下でメールしてください。（大会名、日にち、時間、レフェリーの人数等）お待ちしています。

メールアドレス：cfarc.somu@gmail.com

2024年度更新講習会のお知らせ（サッカー）

（公社）千葉県サッカー協会主催の講習会を掲載します。

千葉県サッカー協会では、サッカー3級・4級審判員の資格更新はインターネットに接続して行うJFAラーニングでの更新を推奨しています。

ここでお知らせする講習会は、インターネット環境が整っていない審判員を対象に、次のとおり対面式の講習会を開催します。詳しくは審判委員会ホームページのWeb申請と講習会案内をご覧ください。
お申込みはすべてKICK OFF（JFAのページ）から行ってください。

なお、会場に駐車場は有りますが、千葉県総合スポーツセンターの行事によっては駐車ができない場合があります。できるだけ公共交通機関を利用してご来場ください。

4級審判員

開催日	受付時間	講習時間	形式	会場	最寄駅	募集定員	駐車場	講習会費
2025年2月16日（日）	9:30 ～ 10:00	10:00 ～ 13:00	講義	スポーツ科学センター 第1研修室	千葉都市モノレール（2号線）スポーツセンター駅	50人	有り	一般 ¥6,100 ユース ¥1,550
2025年2月23日（日）	9:30 ～ 10:00	10:00 ～ 13:00	講義	スポーツ科学センター 第2研修室	千葉都市モノレール（2号線）スポーツセンター駅	12人	有り	一般 ¥6,100 ユース ¥1,550

3級審判員

開催日	受付時間	講習時間	形式	会場	最寄駅	募集定員	駐車場	講習会費
2025年2月16日（日）	9:30 ～ 10:00	10:00 ～ 13:00	講義	スポーツ科学センター 第2・3研修室	千葉都市モノレール（2号線）スポーツセンター駅	50人	有り	一般 ¥6,900 ユース ¥2,050
2025年2月23日（日）	9:30 ～ 10:00	10:00 ～ 13:00	講義	スポーツ科学センター 第2研修室	千葉都市モノレール（2号線）スポーツセンター駅	12人	有り	一般 ¥6,900 ユース ¥2,050

2級審判員

開　催　日	受付時間	講習時間	形式	会　場	最 寄 駅	募集定員	駐車場	講習会費
2025年1月26日(日)	17:00 ～ 17:30	17:30 ～ 20:30	講義	スポーツ科学センター 第2・3研修室	千葉都市モノレール(2号線)スポーツセンター駅	50人	有り	一般 ¥14,600

2025年度サッカー4級審判員新規取得講習会のお知らせ

(公社)千葉県サッカー協会主催の講習会を掲載します。

次のとおり講習会を開催しますので、詳しくは審判委員会 ホームページのWeb申請と講習会案内をご覧ください。

お申込みはすべて KICK OFF(JFAのページ)から行ってください。

なお、駐車場は有りますが、千葉県総合スポーツセンターの行事によっては駐車ができない場合があります。

できるだけ公共交通機関を利用してご来場ください。

●サッカー4級審判新規取得講習会●

開催日	受付時間	講習時間	形式	会場	最寄駅	募集人員	駐車場	講習会費
2月23日(日)	9:30 ～ 10:00	10:00 ～ 16:00	講義	スポーツ科学センター第1研修室	千葉都市モノレール(2号線)スポーツセンター駅	150人	有り	一般 ¥7,080 ユース ¥1,500
3月2日(日)	9:30 ～ 10:00	10:00 ～ 16:00	講義	スポーツ科学センター第1研修室	千葉都市モノレール(2号線)スポーツセンター駅	150人	有り	一般 ¥7,080 ユース ¥1,500
3月9日(日)	9:30 ～ 10:00	10:00 ～ 16:00	講義	スポーツ科学センター第1研修室	千葉都市モノレール(2号線)スポーツセンター駅	150人	有り	一般 ¥7,080 ユース ¥1,500
3月23日(日)	9:30 ～ 10:00	10:00 ～ 16:00	講義	スポーツ科学センター第1研修室	千葉都市モノレール(2号線)スポーツセンター駅	150人	有り	一般 ¥7,080 ユース ¥1,500

2025年度第1回　サッカー3級審判員昇級認定審査のお知らせ

開催期日　2025年4月野田市総合公園(陸上競技場)で調整中

1 受験資格

(1)2025年度の(公社)千葉県サッカー協会(以下「千葉県協会」)4級審判員として登録していること。
※申込み時に15歳以下の者が審査に参加する場合は、親権者の同意が必要。
(2)2026年度に向けた4級更新講習会(JFAラーニング含む)への受講がないこと。(更新手続きのみを含む)
(3)3級審判員に昇級後は、千葉県協会の審判派遣に積極的に従事する意思があること。
※上記の意思が確認できない場合、2次審査の参加を認めない。
(4)その他
① この審査を受験する1年以内に健康診断を受け、審判活動に支障がないこと。
※職場、学校等の健康診断を含む。健康診断を受けていない場合、2次審査の参加を認めない。
② 受験者は、審査参加にあたって、不慮の事故や疾患に関する一切の責任を自己で負う。
③ 3級審判員に昇級後の審判活動に従事中の事故については、千葉県協会が加入する審判障害保険の範囲内で補償されるが、各自でスポーツ障害保険等の保険に加入していることが望ましい。

2 審査基準

(1)千葉県協会が主催する試合の主審を務める技能を有するかを審査する。
(2)1次審査(書類審査)
次に掲げる書類を提出すること。
① 参加申込書(1次審査書類)に必要事項を記載。
※審判委員会ホームページの様式集(昇級審査の申込用紙)から「サッカー3級」の申込書を選び使用すること。また、記入例を必ず読むこと。
② 審判実績確認:レフェリーズダイアリーまたはレフェリーノートの審判記録のコピー提出による。
※実績試合数については、現在検討中。
(3)2次審査(筆記試験および体力試験)
1次審査合格者に対して、次の審査を実施する。
① 筆記試験　競技規則に関するもの。合格基準80点以上。
② 体力試験　75m走(25秒)-50m歩(30秒)　**※本数については、現在検討中。**
③ 講義　　合格者に3級審判員として必要な講義を実施する。

※受験資格、審査基準につきまして、現在検討中です。
※詳細が決定し次第、KICKOFFに掲載します。

2025年度　フットサル4級審判新規取得＆各種講習会のお知らせ

（公社）千葉県サッカー協会主催分のみ掲載してあります。下記以外にも各郡市協会主催の講習会もありますので、インターネットをご利用頂ける方は、『Kickoff』でご確認下さい。

開催日	受付時間	講習時間	形式	会場	最寄駅	募集人数	駐車場	講習会費
3/9（日）	9:30～10:00	10:00～17:00	講義	スポーツ科学センター3．4.研修室	千葉市モノレールスポーツセンター駅	50人	有り	一般¥8,300ユース¥2,650

フットサル3、4級審判員　更新研修会

今年度はWebのJFAラーニングでの更新しか設定がございません。申し込みの締め切りが1月末なので手続きを早めにお願いいたします。

フットサル3級審判昇級試験、フットサル2級予備試験

2025年4月か5月（日程と会場が未定の為）

※詳細は決まり次第Webの方に詳細をアップいたします。

2025年度 第1回 フットサル2級審判員推薦審査のお知らせ

この推薦予備試験は2025年10月（予定）に行われる（一社）関東サッカー協会（以下「関東協会」）2級昇級試験のための予備テストです。

フットサル2級審判員の昇級を希望する方は、次の方法によりチャレンジしてください。

1. 資格要件

(1)　受験資格：2025年度の（公社）千葉県サッカー協会（以下「千葉県協会」）フットサル3級審判員として登録していること。

(2)　次の審判実績を有していること

①フットサル3級審判員として、資格取得後1年以上で、15試合以上の審判を行っていること。

※　15試合は、都道府県リーグ2部以上のフットサルの試合の主審あるいは第2審判として審判したものを計算する。

②サッカー2級審判員

(3)健康など

①　認定審査受験日前１年以内に健康診断を受診していること。（職場や学校などの定期健康診断を含む）

②　スポーツ傷害保険等の保険に加入していることが望ましい。

(3)　審判活動

①　フットサル２級審判員に昇級後は、（公財）日本サッカー協会や関東協会、千葉県協会の審判活動に積極的に従事できること。

2. 資格審査

(1)　関東協会が主催する試合の主審を務める技能を有するかを審査する。

(2)　参加者は、昇級認定審査参加にあたって、不慮の事故や疾患に関する一切の責任を自己で負う。

(3)　申込み時、18歳以下の者が昇級認定審査に参加するには、親権者の同意がなければならない。

3. 推薦審査

● 第1次審査； 書類審査

① 審判実績確認：審判手帳のコピー提出による。

② 昇級認定審査参加申込書による。

※審判委員会ホームページの推薦審査(F2)申込書を使用して提出

審判委員会サイトhttps://chiba-fa.gr.jp/13judge/へ

● 第 2 次審査； 第 1 次審査合格者に対して、 筆記試験と体力試験を実施

・2025年 4月予定

・筆記試験（競技規則等に関するもの） 80点以上

・体力試験

1 Speed2×20Recovery90秒男子3.60女子3.90

2 CODA 男子10.30秒女子11.30秒

3 ALIET 男子Level14－5/885女子13－6/390

・ 講義『2次審査合否発表後』

合格者に第三次審査の説明を実施する

● 第 3 次審査； 2 次審査合格者に対して、実技審査を実施

・ 3 試合実施する。

3試合共に審判アセッサー評価で8.0以上を合格とする。

4. 申込方法

① Webでの申込手続きを完了させてください。

推薦審査(F2)申込書と、 **審判証の写真側のコピー**、**審判実績15試合分以上のREFEREES 'DIARYまたは FUTSAL REFEREE NOTE審判記録用紙コピー**を添付し、郵送で申込みをしてください。

② 受験費用： 2,000円

（徴収方法はWebの指示通り事前支払いのみですので、当日現地での徴収は行いません）

※ 詳細等が決定し次第、Webサイトに掲載致します。

2025年度 第1回 フットサル3級審判員昇級認定審査のお知らせ

2025年度、第1回目の昇級試験を実施いたします。多くの方がチャレンジして、3級審判員として活躍されることを期待します。

1. 資格要件

(1) 受験資格： 2025年度の（公社）千葉県サッカー協会サッカー（以下「千葉県協会」）3級審判員、もしくはフットサル4級審判員として登録していること。

(2) 次の審判実績のうちどちらかを有していること

①フットサル4級審判員として主審、第2審判15試合以上の審判を行っていること。

経験対象試合は、前後半を有するフットサルの試合で、1日2試合を限度とする。

②サッカー3級審判員。

(3) 健康など

①認定審査受験日前1年以内に健康診断を受診していること。

（職場や学校などの定期健康診断を含む）

①スポーツ傷害保険等の保険に加入していることが望ましい。

(4) 審判活動

フットサル3級審判員に昇級後は、千葉県協会の審判活動に積極的に従事できること。

2. 資格審査

(1) 千葉県協会が主催する試合の主審を務める技能を有するかを審査する。

(2) 参加者は、昇級認定審査参加にあたって、不慮の事故や疾患に関する一切の責任を自己で負う。

(3) 申込み時、15歳以下の者が昇級認定審査に参加するには、親権者の同意がなければならない。

3. 認定審査

● 第1次審査； 書類審査

① 審判実績確認：審判手帳のコピー提出による。
② 昇級認定審査参加申込書による。
※審判委員会ホームページの昇級認定審査(F3)申込書を使用して提出
審判委員会サイトhttps://chiba-fa.gr.jp/13judge/へ

● 第２次審査； 第１次審査合格者に対して、 筆記試験と体力試験を実施
・2025年4月予定
・筆記試験（競技規則等に関するもの） 70点以上
・体力試験
1 Speed 2×20（Recovery90秒）男子3.70秒女子4.00秒
2 CODA男子10.40秒女子11.40秒
3 ALIET男子14－2/780女子13－3/300
・講義（合否発表後）
合格者に3級審判員として必要な説明を実施する
後日、新3級審判員講習会を実施する（実技及び講義）

4. 申込方法

① Web での申込手続きを完了させてください。
昇級認定審査(F3)）申込書と、**審判証（現在）の顔写真側のコピー**、**審判実績15試合分以上のREFEREEDIARY またはFUTSAL REFEREE NOTE審判記録用紙コピー**を添付し、郵送で申し込みをしてください。

② 受験費用： 2,000 円
（徴収方法はWebの指示通り事前支払いのみですので、当日現地での徴収は行いません）

※ 詳細等が決定し次第、Webサイトに掲載致します。

インストラクターの魅力 ①

今回から、県内で活躍しているインストラクターにスポットを当て、その魅力を掘り下げて、より多くの審判員にインストラクターについて知っていただき、今後インストラクターを目指す方々の参考になる記事を載せていきます。第1回目は、日ごろからお世話になっているレジェンドインストラクターにその魅力をインタビューしました。

① ： 氏名（ふりがな）敬称略
② ： インストラクター歴とその前の経歴
③ ： 審判指導する上で心掛けていること、ポイントなどは？
④ ： これだから辞められないインストラクターの魅力とは？（嬉しかった事、感動した事など）
⑤ ： 逆につらかった事は？（悲しかった事、がっかりした事など）
⑥ ： インストラクターを目指している方へのメッセージやアドバイス

① ： 小幡 真一郎（おばた しんいちろう）
② ： 1966年（中学2年）から、東京教育大学を経て社会人（京都紫光クラブ）で1982年まで選手を経験し、1985年～2001年まで1級審判員（1988年京都国体に向けた審判員育成のために無理やり）、1993年Jリーグ開幕戦主審などを担当し、2002年～2022年1級インストラクター（JFA審判委員会副委員長などを歴任）、2023年2級インストラクター、現在は3級インストラクターです。
③ ： 審判員自らに気づいていただくためにどのような質問をするか!?いつも頭をひねっています。審判員の「主体化、意識化」を促し、「支援化」に努めています。「一方的にならない、思い込みをしない、決めつけない」ことを心がけています。
④ ： 審判員は日々変化し、成長します。その機会に立ち会うことは大きな喜びであり、幸せです。また、国籍、出身地、性別、年齢職業などにかかわらず、仲間ができることです。その仲間と時間を忘れてサッカ

一談義、審判談義ができることが楽しさです。
⑤：仲間を失う(他界、審判活動から去っていくなど)ことです。
⑥：仲間を増やしましょう。喜びや難しさを共有しましょう。100点が取れないから、うまくできないから、一緒に学びましょう！

①：**栗沢　淳一(くりさわ　じゅんいち)**
②：企業チームの帯同審判の為に18歳で4級を取得後、28歳で3級を、32歳で2級を取得して千葉県社会人や関東社会人のゲームを10年程担当しました。その後当時のインストラクター部長の谷口さんに勧められインストラクター2級を取得し、引退目前の現在に至っています(笑)。
③：出来た事を評価して、次にチャレンジする事を明確にして次への意欲を残す事ですね！
④：個人としては、サッカーが好きなので、いろんなカテゴリーのサッカーが見られた事が辞められない要因ですね。インストラクターとしては、前のゲームで引きずっている事を相談された時や、試した事が上手くいったと報告をされた時にやっていて良かったと喜びを感じます。
⑤：辛いとか、がっかりした事は無いです。
⑥：アドバイスしたり、課題の対応を一緒に考えたりする事の楽しさや、審判員としては体験出来なかったカテゴリーのゲームに接する事で、サッカーがさらに面白くなりますヨ！

①：**今　武司(こん　たけし)**
②：インストラクターの資格を取得して何年になるかな?!そんなに長くはないかと思います。
高校時代にサッカーを始めました。その後、高校卒業を控えた時に当時所属していた少年チームの監督から『これからは資格の時代になるからなんでも良いから資格を持つように！』と、審判の資格を取得させていただきました。審判員としては、2級審判員として関東各地の審判員仲間と活動することができました。特に思い出に残っている試合が、高校選手権県大会の準決勝の主審を担当したことです。レベルの高い試合で、両校の応援の素晴らしさ、選手同士が真剣に全国大会を目指す姿など、審判の魅力を再確認できる経験でした。親の介護で審判活動から離れた時期があったのですが、介護が落ち着いてきたときに活動を再開しようと考えた時には年齢が・・・。
そこで、審判員の育成に携わりたいのと、今まで自分が色々と教えていただいた恩返しとして、インストラクターの資格を取得しました。
③：審判員の考えを尊重することや、わかりやすく話すことを心がけていますが、まだまだ勉強中なのでなかなかうまくいかないことが多いです。
④：審判員の方とお話しをさせていただくと色々な気づきをさせていただけることです。
⑤：インストラクターの資格を持っているとアセッサーも行いますが、昇級が絡んだ試合のアセッサーを担当することで、合否をつけなければならないことです。
⑥：とてもやりがいがあります。審判員とともに自分も成長できることや、自分が担当した審判員が3級、2級と成長していく姿を見られるのはとても嬉しいです。皆さんの経験や知識を活かし、インストラクターを目指してみてください！

永年表彰者募集のお知らせ

（公社）千葉県サッカー協会審判員として登録後、2025年4月1日現在で20年間並びに30年間、審判活動を続けられた方の表彰を行います。
表彰式は5月の審判委員会の前段もしくは後段で行う予定です。参加できる方はお願いします。
該当する審判員の方(自薦他薦を問いません)は、**2月23日(日)までに**氏名、住所、電話番号、e-mailアドレス、登録年月、審判登録番号、活動状況 を下記のメールアドレスまでお送りください。
（書式は問いません。メールにベタ打ちで結構です）

※なお、10年表彰はKICKOFFシステムから抽出して、対象者に記念のトスコインを送付する予定です。

e-mail ： cfarc.somu@gmail.com （担当 長谷川）

～2024年度の審判資格更新について～

〈3級・4級 サッカー・フットサル審判員〉
審判委員会としましては今年度の審判資格の更新方法につきまして、**「JFAラーニング」**を利用しての資格更新を推奨致します。
※2級のサッカー・フットサル審判員の資格更新については、KICKOFFメール等で案内しています。

〈JFAラーニング〉
JFA KICKOFFにログインしていただき、
1、画面左側の「審判」をクリック。
2、「講習会・研修会」をクリック。→「講習会・研修会申込み」をクリック。
3、「更新講習会」を選択。
4、「検索」をクリックし「JFAラーニング」を選択して下さい。

JFAラーニングについては下記、URLを参照してください。
http://els.jfa.or.jp/info/referee/invitation/html/

受講完了で審判資格の更新が出来ますが受講には期限がありますので、お早めに受講下さい。
※「JFAラーニング」の受講期限徒過により受講完了されなかった場合や更新講習を受けられない場合は、2024年度末で審判資格が失効となりますのでお気を付け下さい。

《休止・降級の方法について》

審判資格を休止したい方、2級から3級または3級から4級など降級を希望する方は、下記の手順で申請をしてください。

(1)休止申請

①更新講習会は、受講しないでください。

②休止する理由(長期療養・長期海外出張・その他)を(公社)千葉県サッカー協会に申請する。

休止申請書の記載内容(書式はありません。タイトルを「休止申請届」として下さい。)

a. JFAID
b. 審判番号
c. 氏名
d. フリガナ
e. 連絡先電話番号(必ずつながる電話)
f. 休止理由
g. 休止期間
h. 休止期間中の連絡先電話番号(必ずつながる電話)

③休止復活する際は、(公社)千葉県サッカー協会に電話連絡してください。

※休止期間は、最長2年までとなります。

(2)降級申請

①現在の級での更新講習会は、受講しないでください。

※更新講習会を受講されてしまった場合は、降級できません。

②降級申請書(書式はありませんタイトルを「降級申請届」として下さい。)を(公社)千葉県サッカー協会に申請する。

降級申請書の記載内容

a. JFAID
b. 審判番号
c. 氏名
d. フリガナ
e. 降級希望の級
　1級→2級、1級→3級、1級→4級
　2級→3級、2級→4級
　3級→4級
f. 連絡先電話番号(必ずつながる電話)

※降級申請した後で元の級に戻るには、現状の昇級審査が必要となります。
1級の方が4級に降級された場合は、3級の昇級審査に合格し、2級の昇級審査に合格し、
1級の昇級審査に合格いたしませんと元の級(1級)に復活できません。

(3)申込方法

①申込期間：2025年2月20日まで

②申請書送付先

〒260-0013　千葉市中央区中央3-9-16大樹生命千葉中央ビル1階
公益社団法人 千葉県サッカー協会　審判担当　宛

※不明な点がございましたら、直接(公社)千葉県サッカー協会　電話043-310-4888　に連絡してください。

広告主さま募集しています

- 千葉県内約1万名の審判員に年4回送られている**レフェリーニュースに掲載する広告を募集しています。**
- **募集枠は、1枠（1枠タテ55mm×ヨコ85mm）。**
- **この枠が1枠の大きさの目安です。**

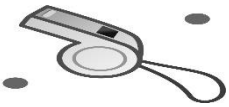
詳細、お申込みは（公社）千葉県サッカー協会事務局（TEL 043-310-4888）にご連絡をお願いいたします。

編集後記

昨年は、千葉県からサッカー1級審判員が2名誕生し、若手の台頭が目覚ましいですね。

県内の審判活動に目を向けるとベテランの審判員の皆様の活躍により、昨年も無事に県内の大会運営を終えることが出来ました。

これからも寒い日が続きますが、体調に留意されて審判活動を楽しんで下さいね！（Hide）



レフェリーニュース編集担当

高野　祐介	E-mail：cfarc.somu@gmail.com
長谷川 鉄哉	
渕上　祥太	
金子　秀之	
公益社団法人 千葉県サッカー協会審判委員会	https://chiba-fa.gr.jp/13judge/

Facebookもチェック

千葉県サッカー協会 審判委員会（発信専用） - ホーム | Facebook

https://www.facebook.com/ChibaFA.rc